

# リサイクル燃料利用 セメックスと調印

## グリーン フィリピンで廃プラを燃料化

廃棄物処理・リサイクルに取組むグリーン・セメックスは、製造工場と協同してセメント製造に使用するセメックス社がリサイクル燃料の供給に際して、セメックス・フィリピンから調印



調印を交わしたグリーン・セメックス代表（左から2番目）、セメックス・フィリピン代表（同3番目）ら

ンみなとオフィスで調印式を執り行った。

同社は12年に横浜市Y-PORT事業によるビジネススマンシップに参加し、フィリピン・セメックスと協力を進める過程で、現地での調査を進めていく。廃プラスチックによる環境汚染問題への貢献を促進するの経緯で、同国環境省、資源循環局、国際協力機構（JICA）の協力を得て、同国で建設された燃料化プラントが利用されることになった。

「セメックス社は、セメントを製造する際に使用する燃料を、化石燃料由来のものから当社のプラント燃料を使用することにより、CO<sub>2</sub>の削減と廃プラスチックのリサイクル促進に貢献することを心がけています。今回の協定は、環境問題における中心的な課題となっている地球温暖化問題と廃プラスチックの処理問題を同時に解決し得るものである」と述べた。

10日の調印式には、グリーン・セメックス代表取締役、セメックス・フィリピン代表取締役、JICAの関係者も出席した。

あいさつに立った藤枝氏は、「セメックス社は、セメントを製造する際に使用する燃料を、化石燃料由来のものから当社のプラント燃料を使用することにより、CO<sub>2</sub>の削減と廃プラスチックのリサイクル促進に貢献することを心がけています。今回の協定は、環境問題における中心的な課題となっている地球温暖化問題と廃プラスチックの処理問題を同時に解決し得るものである」と述べた。